



**Q** 小学生の子が約束を破ったのでゲーム機を取り上げると、「今度から守る」の繰り返し。認めていいですか。

**A** 約束を破っては取り上げることの繰り返しも親の役目。悩ましいでしょうが、子供もやがて成長しますよ。

**守れないルールは無駄？**

はまるようにできているのがゲームなので、子供が夢中になるのは仕方ありません。自己コントロールが未熟な子供だからこそ、話し合ってルール作りをする意味があります。親御さんが悩むのも本気で向き合ってこられた証拠で、これが大切です。「ルールを作っても守れない」ので、「ルールを作るのは無駄」かという点、そうではありません。野放図にされた子供ほど、依存傾向になりやすいのです。ルールを作る際、なるべくシンプルにして、話し合いながら修

正していくといいでしょう。

**何度でも取り上げる**

ルールにつきものの悩みが、守れなかったときの対応です。ルールを作れば親は責任が伴うので、エネルギーが要りますね。ゲーム機を取り上げられた子供は、きまって「友達と話が合わなくなる」「今度から守る」という泣き落としでやってきます。これは想定内ですから、そのたびに子供と話し合いをしましょう。たとえば毎日ゲームに費やした時間をメモする、その時間をほかのことに充てたらどうなるか、あるいは面白い本や遊び

に目を向けさせるなど。そんなコミュニケーション自体に意義があります。

ゲームだけでなくテレビは見せない、市販の菓子は食べさせないという方針の家庭があつて、一見いいようですが、よその家でゲームや市販の菓子に執着することがあります。ゲームをある程度は許すのであれば、約束を破ったら何度でもゲーム機を取り上げることが親の役目だと思っただろうでしょうか。毎回、同じことを繰り返しても、子供は成長するので、そのうち子供の行動に変化が起きるかもしれませんよ。